

令和2年12月17日

生徒の皆さん

杉並区立東原中学校
校長 小松 進一

令和2年度 道徳授業講演会について

東原中学校では例年、道徳授業地区公開講座を実施しています。昨年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止となりました。今年度もコロナ禍の中ということで保護者・地域の方々には公開できませんが、下記のように道徳授業講演会を実施します。今年度は、テーマ『人道支援～コロナ時代をどう生き抜くか～』について看護師の黒澤和子氏にご講演いただきます。

人道支援とは何かを調べると、「緊急事態またはその直後における、人命救助、苦痛の軽減、人間の尊厳の維持及び保護のための支援」と定義され、「人間の安全保障」の確保のための具体的な取組の一つ。また、緊急事態への対応だけでなく、災害予防・救援、復旧・復興支援等も含まれているということです。さらに、人道支援は自発的意思に基づいて行われる道徳的行為であると言われています。

皆さん、この講演を聞き、自分の「生き方」を考えるきっかけとなればと思いますので、有意義な時間としてください。

記

- 1 日 時 令和2年12月19日（土）10時25分～11時25分
- 2 会 場 東原中学校 体育館
- 3 テーマ 人道支援～コロナ時代をどう生き抜くか～
- 4 講 師 黒澤 和子（くろさわ かずこ）氏

プロフィール

獨協医科大学附属看護専門学校卒業後、看護師として獨協医科大学越谷病院、南千住病院、東京都リハビリテーション病院での勤務、また、アフガニスタン難民救済事業の国際医療活動などを経て、2009年から東京都看護協会災害支援ナース登録及び災害対策委員として、支援ナース養成に携わっている。

2011年に災害支援事務所『Hospitality Support 和心(わごころ)』を設立。2015年から福島県南相馬の病院での支援活動を開始。

阪神淡路大震災では兵庫県淡路島の北淡(ほくだん)診療所でボランティア活動を行い、東日本大震災・熊本地震では災害支援ナースとして日本看護協会から被災地に派遣されるなど幅広い活動を行う。